



議会だより

かつらぎ

Gikai 2024.2

(令和6年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

100号



議会だより100号記念おめでとう～!! (妙寺ひまわりキッズ)

主な内容

令和4年度決算 **財政は改善** 2ページ

ありがとう100号記念特集 14ページ

一般質問 **町民のおもいを届ける60分** 16ページ

令和4年度決算審査特別委員会 委員長報告

財政は改善

令和4年度の一般会計決算および各特別会計決算ならびに水道事業会計決算、下水道事業会計決算は、付託された決算審査特別委員会で6日間にわたって審査され、本会議で委員長報告が行われた。一般会計と後期高齢者医療事業特別会計は賛成多数で認定された。他の特別会計は全員賛成で認定された。2ページから7ページで令和4年度決算を特集する。



決算審査特別委員会
委員長 山下 慎二

一般会計

決算の特徴

決算の歳入では、前年度より繰入金、繰越金、寄附金と町有地売却などの財産収入が増加している。歳出では職員給与などの人件費や応援クーポン券発行事業などの物件費が増加している。

①実質単年度収支は4年連続黒字

決算の特徴は

②*経常収支比率は前年度より5・8ポイント上昇(97・1%)

③*財政調整基金残高は3年連続増加(約14億6千万円)

④実質公債比率4年連続減少

①③④によって財政は改善している。

なお、交付税の減少が見込まれる中、過疎対策事業債を活用し公共投資を抑制せず運営してきたため、毎年約14億円の公債償還が必要であり、財政硬直化の一因となっている。

一般会計における

主な指摘事項

交通弱者対策

本町にとって移動支援は大きな課題。ドア・ツー・ドア方式の乗り合いタクシーや福祉有償運送を検討するなど、多面的な事業の本格的な研究が必要である。

地域おこし協力隊

9人の卒業生のうち4人定住しており、さらに定住のための取り組みを求める。募集は、協力隊員の役割や仕事内容を地元住民に正確に周知してより良いマッチングを行うこと。

ごみリサイクル率

ごみのリサイクル技術やごみの処理状況を啓発して、リサイクル率向上を計画すべきである。

不登校対策

不登校児童生徒が全国平均より多い状況は、コロナの影響と子ども心理状態なども不登校の原因と推測される。教育支援センターの設置により集団生活への対応、基礎学力の補充などの改善は図られているが、さらなるサポート制度の充実が必要である。

防除対策

クビアカツヤカミキリによる被害が拡大している中、防除対策の補助金の早急な拡充対策を求める。有害鳥獣対策は猟友会と連携を図りながら対策が充実するよう求める。

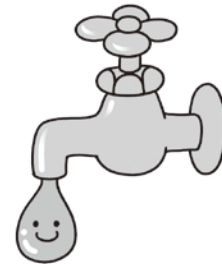
令和4年度各会計決算の認定状況

会計別		歳入	歳出
一般会計		112億3849万253円	105億9798万9239円
シビックセンター特別会計		7279万838円	7270万9277円
国民健康保険事業特別会計		25億6645万7703円	25億1975万339円
国民健康保険天野診療所事業特別会計		616万7374円	581万290円
後期高齢者医療事業特別会計		5億9992万2161円	5億7469万6329円
介護保険事業特別会計		27億5498万1162円	26億2135万7645円
花園地域交流推進施設運営事業特別会計		8630万8707円	8629万4467円
水道事業会計	収益的	4億429万5011円	3億7667万9012円
	資本的	9596万9685円	2億5315万4466円
下水道事業会計	収益的	4億9068万2836円	4億7527万1540円
	資本的	2億743万6695円	3億5008万6408円

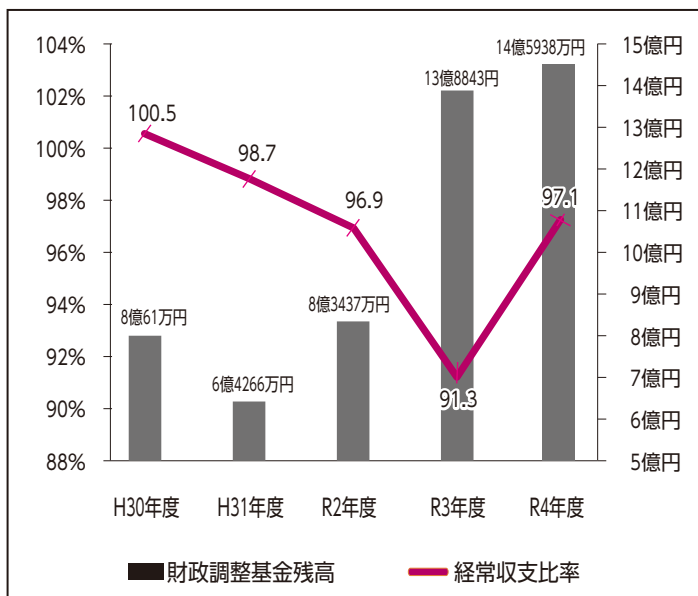
※水道・下水道事業会計の収益的収支は水道、下水道の収入と支出、資本的収支は水道・下水道施設に係る収入と支出

水道事業会計資本的収支額に対する不足額1億5718万4781円は、過年度分損益勘定留保資金1億962万8417円、建設改良積立金取崩額3000万円、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額1755万6364円で補填した。

下水道事業会計資本的収支額に対する不足額1億4264万9713円は、当年度分損益勘定留保資金7945万7927円、過年度分損益勘定留保資金5522万6682円、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額796万5104円で補填した。



財政改善の推移



※経常収支比率とは
家計に例えると生活費など毎月固定の支払いが収入に占める割合で、この比率が低いほど臨時的な支出にお金を回す余裕があることを表す。

※財政調整基金とは
景気悪化による税収減、災害発生などに備えるためなどの町の貯金。

交通弱者対策について

コミバス等利用者の一人1回当たりの経費は約3千円、往復なら6千円の計算です。効果的な方法を考えるべきです。

きしだ としき
丁ノ町 岸田 俊規さん

令和4年度決算事業ピックアップ

生活支援体制 充実へ

妙寺団地建替事業

老朽化した妙寺団地の建て替え（平成25年度～令和8年度）。令和4年度実施業務は、妙寺団地4号館への移転補償（15戸）、旧団地除却工事に係る委託料や工事費を繰り越した。

1億7975万円



妙寺団地4号館



丁ノ町まつもと松本ももよ百代さん

事業実施に感謝
建て替えという大きな事業を実施してくれただことに感謝。隣近所で支え合うことで、絆が増えていると感じます。

生活支援体制整備事業

令和4年度から、「かつらぎ町社会福祉協議会」に業務を委託。

拡充
1493万円



生活支援コーディネーターを専任1人、兼任3人に拡充し、各種団体や地域との連携基盤づくりを始めた。「地域を知ること、住民へ伝えること」を目標に地域へ調査に出向き、地域課題の発掘に取り組んでいる。

短期集中C型サービス

新規
25万円

要支援1・2および事業対象の認定を受けた人のうち、運動・身体・生活の各機能向上の意欲がある人を対象に、保健・医療専門職が3～6カ月の短期間集中的にリハビリ等を実施することにより、生活の意欲の向上を目指す。



リハビリ頑張ってます

生活の持続を目指す。利用者は5人に留まったが、生活支援コーディネーターによる、社会参加の場の情報提供も進めていく。

橋梁メンテナンス事業

平成30年度に実施した各地橋梁点検の結果に基づき補修工事を実施。長年の経年劣化及び橋梁自体の老朽化に伴う被害を未然に防止するための対策工事。

586万円



見好20号橋の橋梁補修工事（平沼田地内）

いよいよ給食費が完全無償化

かつらぎ町応援クーポン発行事業

新規1億9227万円

新型コロナウイルス感染症によって疲弊している地域経済の活性化を図った。また、電気・ガス・食料品等の価格高騰が、生活や事業に与える影響を緩和するために6月と10月補正予算で実施。換金率は98.14%。



学校給食費無償化による子育て支援事業

新規1億4446万円

小中学校における学校給食費の保護者負担分を無償とした。また、区域外就学の児童・生徒（37世帯39人分）の保護者に対しても給食費相当額を補助。



整備されたかつらぎ西武公園多目的広場

拡充
2633万円

令和4年10月に新たに多目的広場およびパークゴルフ場18ホールがオープンし、36ホールになった。利用者数1万5597人（1日平均約50人）。今後は町民の利用増を含め、1万9000人の利用を目指す。

北側公園は令和6年度中に完成予定。

かつらぎ西部公園管理事業

北側公園完成も楽しみ
友だちと遊べる場所があればなあと、ずっと思っていた。パークゴルフはとも面白いし、北側公園完成も楽しみ。



三谷にしゅうら西浦りょうた峻太さん

委員長報告に対する

質疑

深い審査が

できたのか

問 決算書に基づく審査に重点を置くことで、

行政運営の執行に力点を置き、深い審査ができた、とはどのようなことか。

委員長 決算書の備考欄や主要施策の経費内容などに詳細な質疑が行われ、地域おこし協力隊がいなのに、車のリース料が支出されているなどの指摘につながった。また、経常収支比率が上がっている原因として、扶助費、補助金、繰入金が増えているが、人件費、物件費が増加していることが原因であることも分かった。

問 予算の総額抑制を行い、結果として財政状況が改善し、危機的な状況を脱したのは令和4年

度の決算の結果なのか。

委員長 予算の総額抑制を行っても、繰入金が増加していれば、財政が改善されたことにはならない。しかし、実質単年度収支の黒字、財政調整基金残高が過去最高で、実質交際比率が4年連続減少となり評価した。

問 財政調整基金が過去最高となった要因は。
委員長 ふるさとかつらぎ寄附金などが増額したこと、財政調整基金の積み立てができた。

「国の基準以内で適当と認める」

かつらぎ町監査委員

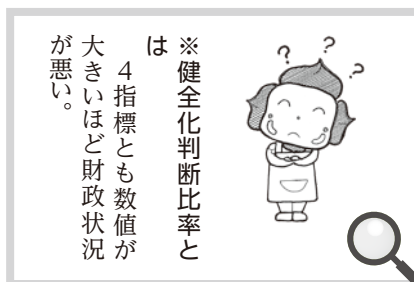
(森下 悦男氏、浦中 隆男氏) の意見

財政指数 令和4年度かつらぎ町一般会計健全化判断比率					
		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
		一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	全会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合
かつらぎ町		黒字なので対象外	黒字なので対象外	9.20%	28.80%
国の指標	早期健全化の基準	14.28%	19.28%	25.00%	350.00%
	財政再生の基準	20.00%	30.00%	35.00%	—

※標準財政規模 地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。

令和4年度標準財政規模63億7533万円。

※水道事業・下水道事業会計は資金不足になっていない。





大山委員の質疑に答弁する産業観光課長(映像配信された決算審査特別委員会の様子)

討論

賛否が分かれる

《反対》 東芝弘明議員

自治体の責務を自覚し住民の暮らしを支える事業には賛成する。自治体DXは、基本的人権を保障せず個人情報 の利活用を図るもの。これは許しがたい。問題の本質を理解しない自治体は基本を見失っている。

一般会計

《賛成》 羽根祥起議員

令和4年度の決算は歳入では繰越金、寄附金などが増えており、歳出では新型コロナウイルス感染症による物件費等の増加、依然として厳しい財政状況には変わりなく、安定した行政運営と住民福祉の維持向上を望む。

《反対》 東芝弘明議員

消費税の導入によって国民の負担は増大した。ここに社会保障の負担増がのしかかり、賃金の引き下げによって日本経済は発展しなくなった。社会保障の負担軽減と充実を目指し、後期高齢者医療制度は廃止すべき。

後期高齢者医療事業特別会計

《賛成》 滝ノ上方記議員

この事業は、広域連合が主体となって運営されている事業であり、昨年度は黒字であった。今後もさらに進む高齢化社会に対し、高齢者が安心して医療を受診できる恒久的な制度の継続を願い、賛成討論とする。

10月・12月会議採決状況 (賛否が分かれた決算は2件)

件名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
令和4年度決算 一般会計、後期高齢者医療事業特別会計	11対1で認定	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シビックセンター特別会計および国民健康保険事業特別会計など7件	12対0で認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月会議 一般会計補正予算(第9号)	12対0で可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月会議 国民健康保険税条例の一部改正など2件、町道の認定など3件、一般会計補正予算(第10号)など5件	11対0で可決	-	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席

6月豪雨による 災害復旧を急ぐ

12月会議

12月会議(12/1~19)	
専決処分	1件
人 事	3件
補正予算	5件
条 例	2件
事件議決	3件
一般質問	8人

12月会議では、水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正や、町道の認定、一般会計をはじめとする各会計の補正予算などを審議し全員賛成で可決した。

一般会計補正

内容

6月2日 発生した豪雨により、被害を受けた農地・農業用施設・公共施設(道路・河川)災害のうち、国庫補助対象となった復旧工事が開始される。

問

災害復旧事業の対象、件数、受益者負担は、**建設課長** 国費補助対象となる農地補助は田、畑など21件、受益者負担は

7%。農業用施設は農道、水路、ため池が対象、受益者2戸以上で38件、受益者負担は5%。

問

農地・農業用施設の災害復旧事業費の限度額があるか。限度額を超えた場合の受益者負担は、**建設課長** 限度額を超える場合は受益者負担となる。できるだけ受益者負担が少ない事業を説明して意向を確認している。

問

農地災害復旧の個人負担を見直す考えは。**建設課長** 近隣の市町よりも負担割合は低い。今のところ見直す予定はないが、負担が重いとの声があるので、今後の検討課題としたい。

問

道路と河川の災害復旧は77件中38件が予算化された。残りはどうなるのか。

建設課長

残り39件は新年度予算に計上予定。

6月豪雨による災害復旧事業

(12月補正：国庫補助対象)

種 別	件 数	金 額
農 地	21	6000万円
農 業 用 施 設	38	8000万円
道 路	12	2648万円
河 川	26	2億3302万円



6月豪雨で被害を受け復旧が急がれる町道太谷4号線



志賀のじり ますひろ
野尻 増浩 さん

全ての地域に補償を
ボランティアは、非常に有難かったが、全ての地域が補償を受けられない。大きな被害が発生しない長期的な対策を。

天野簡易水道を 星山地域に拡張

水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

山崎飲料水も町の管理に

内容

未給水地域を解消するため、天野簡易水道の給水区域の拡張を行い、星山地区へ給水を行うとともに、天野地区の未給水区域の解消を図る。また、山崎飲料水供給施設を町で管理運営する。

問 前回議案を取り下げた理由と、今回上程するまでの天野地区との取り組み状況は。町内の未給水地区と戸数は。
上下水道課長 天野地区への説明不足により合意が得られず議案を取り下げた。令和2年～5年度まで天野地区と協議を重ね、要望などを覚書とした。29カ所340世帯。

問

山崎飲料水供給施設が町へ移管ということに経営戦略等には、影響しないのか。

上下水道課長 水道料金で賄えると試算している。当分の間は問題ない。令和8年に見直しを予定している。

町長 飲料水供給施設は、地元地域で維持管理費を賄うのが原則である。よって、水道料金値上げは考えていない。



星山 西澤 憲彦 さん

水道施設ハンザイ

長い間待ち望んでいた水道施設が、町のお世話になり施工されることになって、大変ありがたいです。



水道の種類		箇所数
町管理	上水道 (5,001人以上)	2
	簡易水道 (101人以上、5,000人以下)	8
	飲料水供給施設 (100人以下)	3
それ以外	その他未給水地域 (地域管理による飲料水供給施設含む)	29

町道の認定

紀の川に新橋を

内容

京奈和自動車道紀北かつらぎインターから、紀の川を渡って県道と歌山橋本線を結ぶ道路と橋が建設される見込み。

完成すれば現在の三谷橋を含む、三谷地区からJR妙寺駅前に至る県道三谷妙寺停車場線は、県から町に管理が移管されることから、町道に認定する。

問

三谷妙寺線を今回町道認定する理由は。

建設課長 新橋の建設は、令和6年度以降で都市計画決定後となる。県との協議により、あらかじめ町道に認定する。認定により新橋完成までは県道と町道の重複路線となるが、道路の修繕、構造物の撤去などは県が責任を負う。

10月会議

10月会議(10/23~26)	
専決処分	3件
補正予算	1件
決算認定	9件

損害賠償の和解及び損害賠償の額を定める
陥没の防止には

内容

6月2日に発生した豪雨により、県立紀北分院東側の町道が陥没し、自家用車が転落した。



豪雨により陥没した紀北分院東側の町道

問 6月2日以前に弁

天谷川河床の掘削工事が行われている。この工事と道路陥没の関連は。

建設課長 県の工事との影響はわかっていない。

問 修復工事が適正に行われているか。

検査長 以前の工事後、水の流れて掘削が起き川底が下がってくる。護岸の基礎に根継ぎする工事になると思うが、調査し検討していきたい。またパトロールも強化したい。



中飯降しおやま 塩山 クマヨ さん

道路を早期に直して

豪雨による水の音を今でも思い出します。過去には上流からの浮遊物で橋をせき止め、水が道路にあふれたことも。

総務産業常任委員会

議会業務継続計画案 策定へ

9月29日、11月22日、12月5日委員会開催。

災害や感染症拡大などの非常時においても、議会機能の維持回復を図り、災害対策活動ができるよう、体制整備を行うための議会業務継続計画（BCP）を本年度中に策定する。

策定には各委員の分業体制で各項目に分け作業を行い、内容の審議を経ておおむねBCP案ができた。

熊本県益城町の災害（地震）時の被災者支援、議会体制等の視察研修を1月22日実施で決定。



議会BCPの策定を



藤本 憲一 委員長

益城町の地震時の議員としての町民対応、反省点等をしっかり研修して今後の議員活動に生かしたい。

視察
研修報告

下水脱水汚泥堆肥化視察

11月7日に佐賀県佐賀市下水浄化センター、8日に佐賀市清掃工場を視察した。

佐賀市は下水道区域が80%近く整備され、集約した下水は微生物の力で水と汚泥に分離。汚泥から発生するメタンガスで電力の一部を補うことや、脱水汚泥は超高温好気性発酵システムを用いて、全量堆肥化。市民に格安で販売され喜ばれていた。この取り組みの中で、コストや二酸化炭素排出削減は明確に数字で公表、住民の理解度はかなり大きなものがあった。

次に、佐賀市清掃工場では、焼却で生じた排ガスから二酸化炭素を分離

し、農産物の育成や微細藻類の培養で医薬品や化粧品などの原料として利用していた。焼却灰はセメントの原料、廃油は市営バスなどの燃料に利用。施設内には環境教育の拠点を設け、環境問題が勉強できる機能もあり、持続可能な循環型社会の構築努力が、バイオマス産業都市に認定されていることに納得ができた。

12月6日委員会開催。

12月6日の委員会では、佐賀市視察について意見を交わした。佐賀市の取り組みである、汚泥堆肥化事業、バイオマス産業

関連事業を参考にし、本町における下水処理、資源ごみの処理方法などの現状を把握しながら、今後とも継続して調査し、町に提言していきたい。



大原 清明 委員長

高齢者の免許返納問題等に対して、町の医療体制について医師会との懇談を予定しています。



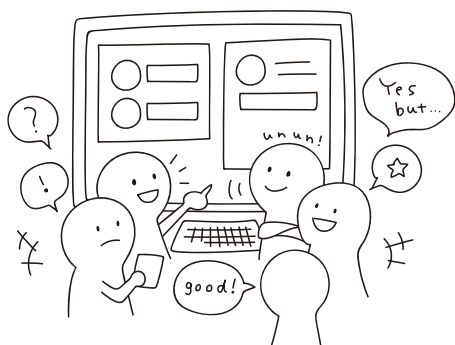
下水汚泥から作られた堆肥を安価により求める市民(佐賀市下水浄化センター)

議会運営委員会

反問権の導入も検討中

10月6日、23日、26日、31日、
11月24日、12月19日委員会
開催。

提出議案と議会日程の確認の
会議以外に「議会基本条例」の
見直しの協議を進めている。条
文の1行ごとの審議には時間が
かかるが、他市の議会運営の資
料も出して比較する中、多面的
な意見が出るようになった。前
文の見直しも時間をかけて検討
し、町当局からの反問権を組み
入れてほしいという要望にも応
えるよう議論を重ねている。
議員間の自由討議を本会議と
委員会に組み込むための議論で
は、会議規則の改正と自由討議
に移行するための仕組みが必要
であることを確認した。その中
で、「今行っているこの協議が
自由討議そのものだ」というこ
とが議論され「なるほど」とな
った。



東芝 弘明 委員長

委員会一同、傍聴に
来てほしいと思ってい
ます。

庁舎建設調査検討特別委員会

将来を見越した 住民のための庁舎を

10月23日、11月10日、12月14日
委員会開催。

庁舎建設は、現庁舎の課題、住民
サービスの在り方、庁舎整備の方向
性（必要な機能、災害対応、環境へ
の配慮、庁舎規模、候補地、整備手
法、財源等）が重要で他団体の取り
組みを研究することになった。

執行部から「かつらぎ町庁舎建設
検討委員会」が候補地の中から現庁
舎地をかさ上げして建設することを
決定して町長に報告されたと説明が
あった。

御坊市は、新庁舎建設基本構想策
定から工事完成まで7年費やしてお
り、現実的には10数年の取り組みで
ある。さまざまな角度から検討して、
現在地に1階は浸水を考慮して建設
されている。当委員会では、「新庁
舎建設基本構想」「新庁舎建設基本
計画」を全員で読み込み研究した。



上空から見た現庁舎



松岡 宏行 委員長

庁舎建設は高額な大
事業のため、10年先を
見越して審議したい。

長期総合計画調査検討特別委員会

質疑が充実してきた

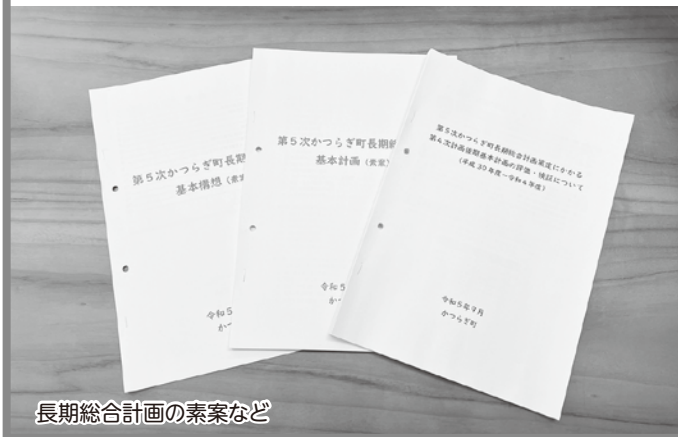
10月20日、12月20日委員会開催。

企画公室の説明を受けた後、「基本構想素案」と「基本計画素案」について質疑を行った。「基本構想素案」に対しては、町内の河川に関わる記述を改善してほしい、議会がかねてから提言してきた地域の公共交通対策は重視してほしい、地球温暖化対策を重視した記述にしてほしいなどの意見が出された。これらの意見は素案に反映され、「持続可能なまちづくり」の中に「公共交通網の充実」が加えられた。基本計画素案に対しては集中した質疑を行うとともに、1月の委員会に向け章ごとに文書で質問や改善案を提出し、議員間協議を行うことを確認した。



東芝 弘明 委員長

1月の議員間協議が楽しみ。議会からいい提言を出したい。



長期総合計画の素案など

広報広聴特別委員会

住民懇談会の

実施に向かって

10月19日、12月12日委員会開催。

住民懇談会について7月、9月の委員会での話し合いを基本にさらなる話し合いが行われた。また、議会だより100号に掲載する、議会モニターから寄せられた意見の編集を行った。11月17日、町育成連絡協議会代表者会に出席し、懇談会についての説明を行い、開催について要望を行った。結果、令和6年1月11日に大谷育成協議会と懇談会を実施することが、12月12日の委員会で決定した。11月22日、町自治区長会との意見交換会を実施した。議員、自治区長をそれぞれ3つのグループに分け、テーマを決めて懇談した。(詳細は25ページ)



新堀 行雄 委員長

いよいよ住民懇談会の実施に向け、第一歩を踏み出します。



自治区長会との意見交換

ありがとう 100号 記念特集

皆さんのおかげで
皆さんと共に100号

「議会だより」の創刊は、平成11年5月。皆さんに支えられながら100号を迎えました。議会と住民との架け橋として、これまでにさまざまな議会活動を伝え、紙面には多くの皆さんに登場していただき、ありがとうございます。今号では、特集として、100号記念のコメンタリーを紹介します。



100号

創刊号

もっと議会だよりが
大きく育ちますように

ライトアップされた丹生酒殿神社の大イチョウ



たまい れい さん
はると 大翔 くん
笠田東 玉井 玲 さん

興味が持てる工夫を

議会だよりっておじさん向けのイメージ。読んでみたいと思わないので、興味を持てるようにサブタイトルや写真・挿絵等をどんどん入れてください。



丁ノ町 えいぞう 栄造 さん
きたぐち 北口 さん

毎号楽しみにしています

毎号楽しみにしています。議員自ら作っていることを知ってビックリしました。これからも住民にわかりやすい紙面づくりを期待しています。



さこん あや 綾 さん
さくと 咲翔 くん
笠田東 左近 さん

おめでとう

100号記念おめでとうございます。「議会だより」という名前が難しいイメージなので、子育て世代も聞き取りやすい名前になったらいいなあ。



妙寺 しずか 静香 さん
つばい 坪井 さん

読んで距離の近さを

私や周りの身近な方からの声を取り上げ、議論している様子の記事を読ませて頂いた時には、議員さんと町民の信頼と距離の近さを感じ嬉しく思いました。



議会だより編集特別委員会
とうしば ひろあき 委員長
東芝 弘明 さん

手に取ってほしい

25年間で紙面は変化しました。議会は未来のことを決める場所。思わず手にとってもらえる、面白く、役に立つ紙面をみんなで作りたいと思っています。



議会広報編集特別委員会(当時)
やまぞえ けんじ 山添 健治 初代委員長

議会をより身近に

町民に身近な議会であるため、質疑や一般質問各種報告等を広報し議会活動を一層理解いただける様、創意工夫し充実した「議会だより」になっています。



がんばる人95号登場
さいとう りょういち 齊藤 遼一 さん

大変励みになった

中学生の時、議会だよりの「がんばる人」で紹介してもらい大変励みになりました。今は高校生になり、バスケットボールも続けて頑張っています。



がんばる人86号登場
みぞきた ゆき 溝北 有希 さん

100号おめでとう

100号記念おめでとうございます。私が議会だよりに出てから、議会だよりをよく見るようになり、町の行事に興味を持つことができました。

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。
記事は質問者が作成したものである。

ページ	質問事項	質問議員
17	小・中学生の休み方について	 山下 慎二
18	農産物販売促進事業の復活を	 藤本 憲一
19	病児保育の必要性と人材確保について	 大山 希世
20	自治区・町内会を維持するには	 表具 弘
21	魚類が見守る安全安心な水道水	 羽根 祥起
22	交通弱者対策のため福祉有償運送を	 松岡 宏行
23	PR失敗による損害発生について	 滝ノ上万記
24	本町にICT支援員配置は必要	 東芝 弘明



中阪町長

各ページ議員名の下
の二次元コードを読み取ると
ユーチューブで質問映像を
見ることができます。



小・中学生の休み方について

教育長 観察や関わりを大切にしたい



山下 慎二 議員



問 教職員の勤務実態をどこまで正確に把握しているか。

教育総務課長 教職員の出勤の時間は、パソコンの電源のオンオフにより把握し、勤務時間チェックシートを作成している。学校外・時間外勤務の把握については、勤務時間チェックシートを活用して把握に努め、教職員の勤務状況の改善を促している。

問 学校は子どもが休む場合、どのように情報共有を行っているのか。

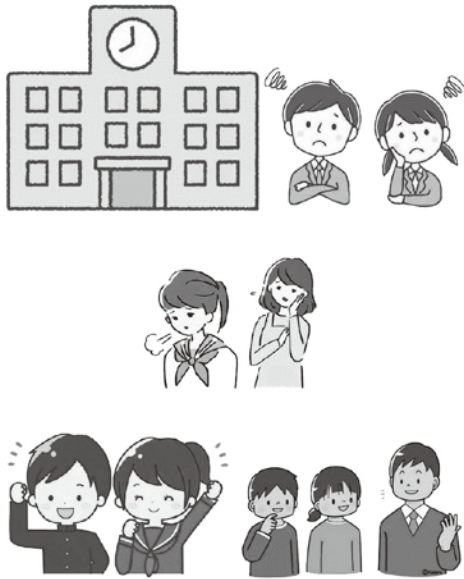
教育総務課長 休みの連絡をメールや電話、インターネットで受け

付けている。その後、情報共有のため、連絡を受けた欠席者をホワイボードに書き記し、全教職員が共有できるようにしている。連絡がなかった家庭に対しては、担任が連絡を行い、状況を把握している。早急に解決しなければならぬ事案は見極めた上で、担任、管理職、スクールカウンセラー等と情報共有を

行い、どのような支援が必要かについて協議し、解決を図っている。

問 休みたいと思う気持ちをもどるよう尊重し、前向きな気持ちにしていくのか。

教育長 子どもたちと年間3、4回の面談を繰り返し、子どもや保護者と情報を共有し、その心情や必要な支援の把握に努めている。



消防団員確保と補償について

このように、教員は子どもたちの成長を支えるために、日々の観察やコミュニケーション

を大切にし、子どもたちがよりよい学びの環境で成長できるよう努めている。

問 消防団に関する広報活動の取り組みと、ポスター作成を求めたい。

危機管理課長 広報活動は、現状において十分とは言いがたい状況である。関心を持ってもらえる町広報、ホームページを通じて、消防団の活動を積極的に紹介するよう努めたい。

て理解と共感を持ってもらえるような、リーフレットの作成などの検討を進めたい。

問 若年層や女性の視点に立って、入団に関する活動をしているか。

危機管理課長 若者や女性の声を聴くためにも、消防団活動につい

問 消防団員が自家用車で火災現場等に駆けつける場合、保険加入はできないか。

危機管理課長 車種別に保険料が設定できない課題があり、また地震には対応していない課題もあり、現時点の制度においては、加入は難しいと考えている。

農産物販売促進事業の復活を

町長 メリットあるがデメリット大きい



藤本 憲一 議員



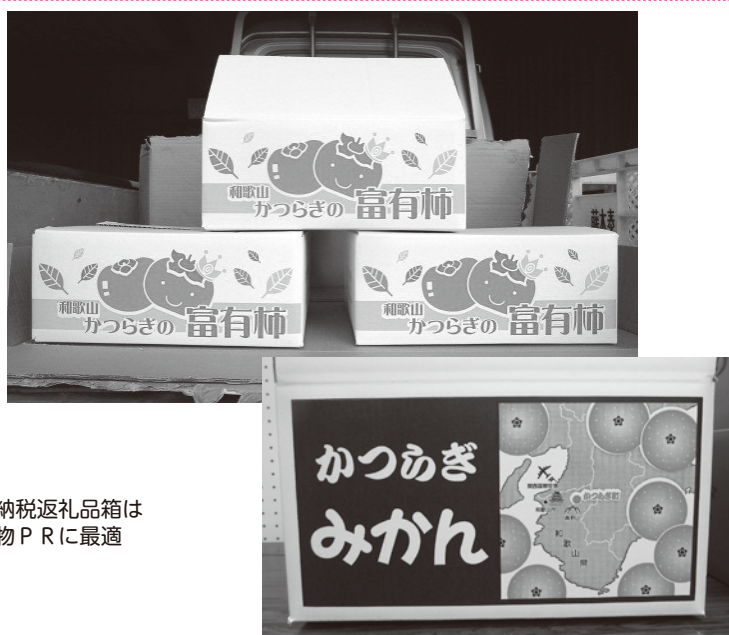
問 令和3年度から、町農産物販売促進事業の目的は、コロナ感染症の影響により落ち込んでいる農産物の消費拡大のため、送料の一部を予算の範囲内において補助する事業であった。令和3年度決算は3940万円、当時の登録数は145人、送付件数は5万40件という実績であった。農業生産者からみたら良い事業ではなかったのか、すごい効果があったという評価を私はしていたが、残念ながら令和4年度予算の計上もなく、この令和5年度予算にも計上されていない。どういった理由で予算計上されな

かったのか。
産業観光課長 農産物販売促進事業は、コロナウイルスの対策として当時落ち込んでいた農産物の消費拡大を目的として、農産物の送料1件当たり600円を上限として補助する事業であった。4年度に実施しなかったのは、コロナ対策の交付金ではなく、町単独実施を考えた場合に、同程度の財源の確保が非常に困難であると判断したからだ。

問 最近私の家の周辺で柿や桃を作っている若者が増えていて、その人たちからは、案外この事業は、魅力があったような話を私は聞いている。もう一度やってほしいという声は役場のほうにも届いていると思うが、対応等検討されたのか。
産業観光課長 良かったという声も届いているが、事業の登録から精算に至るまでの事務手続きを考えたら、そこまで、売り上げが伸びなかった。また、申請をしても精算までの間立て替えが必要であるため、借入をした事業者もあり、資金繰りに大変苦労したとの声もあった。双方の意見を検討した中で、財源の件も含めて、実施しないと判断した。

問 財源が単独ということで難しいが、小規模農業者を対象にすれば財源も少しで済む。また、生産品の送付には、ふるさと納税返礼品送付箱を使用するよう義務付ける。箱は案外長く家に置いてもらえることからいろいろな人の目に触れる、町のPRにもなる。以上のことを参考に再実施できないか。

補助金については、ないと困る補助金は絶対に確保しなければならぬ。あれば助かるという補助金は、町の財政状況からして、潤沢に予算確保できる状況ではない。



ふるさと納税返礼品箱は本町の果物PRに最適

病児保育の必要性と人材確保について

町長 必要性を深く認識している



大山 希世 議員



問 先般、病児保育に関するアンケートを実施し、184の回答があった。協力してもらった皆さんはじめ、企業・団体に感謝したい。想像していた以上に悩んでいる人が多いことが分かった。病児保育でなくても何らかの形で支援できる体制はあるか。

問 核家族や共働き世帯が増える中、病児保育の必要性を感じる。町内に※病児保育の対象となる0～12歳の子どもがいる世帯数は、**教育総務課長** 令和5年9月末現在、7152世帯のうち768世帯。

問 人材確保は、大きな壁がある。看護師、保育士で、事情があり現場を離れている人が復帰しやすい環境づくりを提案する。明石市が潜在保育士等職場復帰支援研修を実施している。国や県との連携をさらに強化してもらいたい。病児保育では

町長 アンケートの結果からも、子どもや保護者の安心感を考える。と医療機関併設が理想。医師会との連携も必要になり、医師の負担も当然増えてくるため検討の必要がある。

問 病児保育を新設することは財政的に難しい。例えば小児科が併設されている病院内で病児保育のためのスペースを借りることは可能か。

問 町長の全体的な見解は。

町長 全国的にも、労働人口の減少、共働き世帯の増加、定年の延長など社会の状況が随分と変わってきている。病児保育やファミリーサポート制度の必要性も大きく変化している。これらの施策を実施するためには、人材確保が不可欠であると深く認識している。

問 学校や子ども園から急病で保護者に迎えの連絡があった場合でも、すぐに対応が難しい場合がある。*ファミリーサポート制度も必須では。その内容に対して調査の予定は。



※病児保育とは
0歳～12歳の子どもが対象で病気の急性期、回復期において家庭での看護療養が困難な場合に預かる事業。

※ファミリーサポート制度とは
子どもの送迎や預かりなど、支援を受けた人と支援したい人のマッチングを行う制度。

自治区・町内会を維持するには

町長 変えていこうとする動きが必要



表具 弘 議員



問 現在の町内会加入状況は。

総務課長 11月末現在の総世帯数は、7160世帯。町内会加入世帯は5890世帯となり、加入率は82・26%。

問 自治振興費の内訳は。

総務課長 自治振興費支給要綱に定め、四つの項目がある。一つ目は、納税奨励。納期内取扱金額の1%、納税義務者1人につき200円。二つ目は、世帯数割。これは当該町内会の世帯数×1500円。そして三つ目が、衛生自治。当該町内会の世帯数×80円。四つ目が敬老事業。当該町

内会の70歳以上の者×500円。

問 自治区・町内会を維持するために行政ができることは。

町長 自治区・町内会の地域コミュニティは本来に重要で、災害時には公助がなかなか十分に果たせない可能性が高い中、共助という

部分では、まず地域の皆さんで協力し合いながら、助け合いながら対応してもらうことが必要。来年度は、地域振興費なる名目になるかどうか分からないが、各地区に少し自由度の高い補助金のようなものを作りたいと議論をしている。



睦町内会・天満宮

誰もが利用しやすいサロンへ

問 どのような移動手段を使うことができるか。

健康推進課長 一番多いのが徒歩47%、次に車運転22%、次が参加者の車に同乗8%、その他として、シニアカーや自転車、バイク、家族の送迎など。タクシー等の交通費も、いきいきサロン事業補助金の基準額の範囲内で対象経費として認めている。

問 社会福祉協議会に業務委託して大きな変化は。

健康推進課長 令和4年度は、生活支援コーディネーターの人数が増え、地域を知ること、住民へ伝えることを目標に、担当地域に調査に出向き、既存の集いの場やキーパーソンな

ど、地域資源の発掘。令和5年度には、専任2人、兼任1人の体制となり、さらに詳しく地域調査、サロンの立ち上げ支援や公民館との連携など、地域課題の解決に取り組んでいく。

問 いきいきサロン事業を通じて何を実現するのか。

参事(総務・厚生担当) 住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりのために、住民が主体的に運営することにより、ふれあいを通して仲間の輪を広げ、生きがいづくりや孤独感の解消、社会参加の促進、さらには介護予防を図る、これが本来の目的。

魚類が見守る安全安心な水道水を

町長 町の責務として今後も対応する



羽根 祥起 議員



問

水道事業に求められる要件として、住民が安全で安心して使える水の供給であると思う。水道法における上水道と簡易水道の違いと施設の様子は。

上下水道課長 給水人口5001人以上が上水道、101人以上5000人以下を簡易水道と規定している。本町の上水道は2カ所、簡易水道は8カ所となっている。

水道法では、水道原水の水質基準があると思う。地下水を直接くみ上げている水源に関しては、比較的安全であると思うが、谷の水を水源とする簡易

問

水道法では、水道原水の水質基準があると思う。地下水を直接くみ上げている水源に関しては、比較的安全であると思うが、谷の水を水源とする簡易

水道などの場合、野生動物の排泄物や農薬等が混入すると思う。どのような水質検査をしているのか。

上下水道課長

水道法第2条では「水道が国民の日常生活に直結し、その健康を守るために欠くことのできないものであり、かつ、水が貴重な資源であることにかんがみ、水源及び水道施設並びにこれらの周辺の清潔保持並びに水の適正かつ合理的な使用に関し必要施策を講じなければならない」と明記されている。本町の水質検査は、基準40項目、農薬115項目は年1回、また、病原性原虫である※クリプトスポリジウム対策として、地下水を水源とする塩素消毒のみの施設については年4回、膜ろ過等のろ過設備がある施設については、年1回のクリプトスポリジウムの検査をしている。

問

水道原水については、農薬等の異物混入に対し、魚類などの水槽に原水を流し、魚の異常の有無を検出する方法がとられていると聞いているが、本町では。

上下水道課長

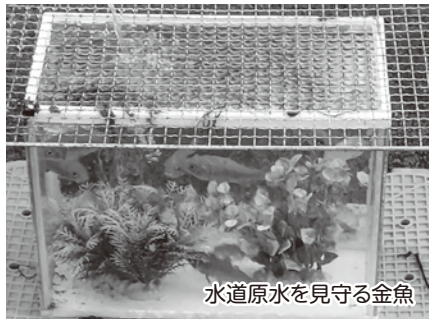
水道事業開始当時より、各浄水施設に魚類の飼育槽を配置し対応している。

問

安全・安心な水道水の確保に関する町の責務について町長の意見を聞きたい。

町長

水道は生活を行う上で、最も重要なものである。町民が安全で安心した生活を送る



水道原水を見守る金魚

ための水道水の安全性と設備の持続性をしていくのは、町の責務として、今後も対応していかなくてはならないと考えている。

その他

水道管の破損原因についても質問した。



佐野浄水場



※クリプトスポリジウムとは人や動物の消化管内に寄生するマイクロメーター大の単細胞の寄生虫。

交通弱者対策のため福祉有償運送を

町長 令和7年度予算で取り組みたい



松岡宏行 議員



問 交通弱者対策の福祉タクシー、コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの内容は。

住民福祉課長 障害者734人にタクシー券または燃料券を支給。
総務課長 安価で通学等に利用。町内全域をカバーできず、限られた便数。バス停までの移動が課題。

問 高齢化による免許返納で交通弱者が増える中、全国的に福祉有償運送が取り組まれている。その内容は。
住民福祉課長 NPOや社会福祉協議会などの非営利法人が、高齢者や障害者などの移動

困難者を対象に通院、買い物等を目的に有償による移動サービス。対象者は障害者、要介護・要支援者など。

問 福祉有償運送の実現を望む町民たちは、協議を重ね、運転手の確保は町民に協力をお願いできるが、障害者車両や事務等を考慮すると、NPOより社会福祉協議会で主体的に取り組んでほしいと町

長に要望した。社会福祉協議会での対応は。
副町長 介護事業を終了したので、現体制では困難。

問 実現を望む熱い町民の要望をどう受け止めるのか。
町長 町として思いに応えなくてはならない。福祉有償運送だけを進めるのではなく、公共交通全体を見直し検討したい。社会福祉協議会



福祉有償運送さざえあい橋本の車

で取り組むことは望ましいが人、車両、運転手の確保等が課題。

問 例えば、NPOで取り組む場合の支援

は。見直しの時期は。
町長 運転手講習会等の補助が必要。地域公共交通全体を考えながら令和7年度予算で取り組みたい。

子育て支援施策充実のためファミリーサポート事業を

問 ファミリーサポート事業とは。
教育総務課長 子育てを応援したい人が提供

会員、子育てを依頼してほしい人が依頼会員で、育児の相互援助活動を行う有償ボランティア。

ート事業の必要性は、長期総合計画策定のアンケート結果に、数件の要望や保健師は保護者の声を聞いており、現実に目を向けていないのでは。
町長 社会情勢の変化で制度の必要性は大きく変化している。

問 令和2年策定の第2期子ども・子育て支援事業計画に、計画しているのになぜ実施していないのか。
教育次長 他の支援事業と比べてニーズが多くなかったため。

問 ニーズの状況を踏まえて、地域子育て支援センターを運営している、かつらぎ福祉会に委託しては。
町長 実施するならば検討が必要。

問 ファミリーサポート

PR失敗による損害発生について

町長 おわび以外何も無い



滝ノ上万記 議員



問

インバウンド向けツアーのモニター事業が実施できなかったことにより、現在、町に百万円単位の損害が発生する可能性がある。今後同じ失敗を繰り返さないよう、何が悪かったのかを検証する必要がある。

今回のインバウンド向けのPRツアーとは、「関空へ来た外国人観光客をヘリコプターで天野地区へ案内し、丹生都比売神社で雅楽を見学したり、フルーツ狩りを楽しんだりし、その日の夜は『天の里』へ宿泊。翌日は高野山へ参詣し、その後は南海電車『天空』にて難波へ向かう』というも

の。きっかけは夢洲機構から町長に国の補助金事業の話があり、夢洲機構と近畿日本ツーリストとかつらぎ町の三者で契約をして実施しようとした。通常は旅行会社とかつらぎ町の二者で契約を交わすところを、夢洲機構を含めた三者とした理由は、「夢洲機構が総領事と強いつながりがあるから」であると聞いている。だが、夢洲機構は計画していた日程に総領事等を招へいできず、そのためかつらぎ町はヘリコプター運航会社やその他の観光施設へ、キャンセル料を支払うはめになった。だが、そもそも夢洲機構とかつらぎ町は委託契約すら結ぶことができていなかったために、今回のような混乱した状態になっていると言える。

町長 この事業が中止になってしまったということに関しては、も

うおわび以外何も無い。ただ、職員の中でしっかりと検討して、期間が短い中で申請をしていったという事は当然あるわけで、そのことに関してはもう少し時間があれば、もう少し

違ったかなという思いがあるのと、もう一点は、やはり夢洲機構の中でも随分、われわれの内容について進めていこうとする考え方と、進めにくいような内部の中の議論があっ



高野山を訪れる観光客（根本大塔）

たというふうなことも聞いているし、そのことが中止に至った原因の一つにもなっている。当然ながら、いわゆるキャンセル料と言われているお金は一旦は町から出すとしても、これはこのまま、「はい、分かりました」と言って引き下がるべき内容ではないと思っている。少し時間がかかるかもしれないが、きちんと解決に向けて取り組んでいきたい。

本町にICT支援員配置は必要

教育長 配置は否定しない



東芝弘明 議員



問 なぜ文部科学省は、ICT支援員の配置を求めているのか。
教育次長 校内にICT機器が増えると、操作の習得やICTを活用した授業改善、機器の設置準備などが発生。状況を解消するためI



ICT教育の様子(イメージ)

CT支援員の配置が必要とされている。

問 この点をどう検討したのか。
教育総務課長 本町には情報スキルのある町職員や、各学校に情報教育担当教員を配置している。

問 議員がICT教育を視察したとき、3人ほど機器が立ち上がり、授業が止まったが、**教育総務課長** 予備の機械もあり、入れ替えて対応している。

問 ICT支援員が配置されている市町村は43%。紀の川市が一番多く11人配置されている。2校に1人、国の基準は4校に1人。教職員は非常に喜んでいいる。橋本市4人、九度山町2人、本町がゼロ。伊都郡の中でも遅れている。教職員アンケートを取ってほし

問 ICT支援員が配置されている市町村は43%。紀の川市が一番多く11人配置されている。2校に1人、国の基準は4校に1人。

問 紀の川市の事例を調査してほしい。
教育長 他から学ぶことは大事なことなので、紀の川市を訪問したい。

問 国の通知が発出された。単に事務補助的な職務についてはパートで良いとは思いますが、そうではない職員については、適正な運用が行われているとは考えていない。

会計年度任用職員の待遇改善を町長 見直していく

問 会計年度任用職員で最低賃金を下回っている人は何人か。
総務課長 現在5人。改定を遡及適用する。

問 本町の会計年度任用職員は、町長部局に37人、教育委員会の部局に68人。給料表の1級は定型または補助的な業務を行う職務。2級が相当の知識または経験が必要とする職

問 1級の25はほぼ

い。
教育長 ICT支援員の配置は否定しない。ニーズ調査をしてみた

問 国の通知が発出された。単に事務補助的な職務についてはパートで良いとは思いますが、そうではない職員については、適正な運用が行われているとは考えていない。

問 給料表の2級の25は時給換算では1442円になる。会計年度任用職員の最低賃金を時給1500円にする考えは。働く者の賃金を引き上げないと日本経済は立ち直らないと思うが。

副町長 運用の仕方は適切でない。会計年度任用職員の位置付けと給料表について、見直していくべきと考えている。

問 1級の25はほぼ

い。

自治区長会との意見交換会を開催

テーマごとにグループ討議

11月22日、かつらぎ総合文化会館で自治区長会との意見交換会を開催した。今回は、全体会の後、3つのテーマごとにグループに分かれて意見交換した。各グループで出された意見の一部を抜粋して紹介する。

Aグループ



かつらぎ町の未来に向けて

- ・人口減少には歯止めはかからない。1万人でも楽しい町にしようとする発想の展開。
- ・リモートの活用が大事。子どもが増えても定住しない。リモートはどこでもできるので、それにプラス、もう一つの魅力をつける。
- ・移住してきた人に聞いたら、「近所の人もやさしく、住みやすいと思った」と言っていた。

Cグループ



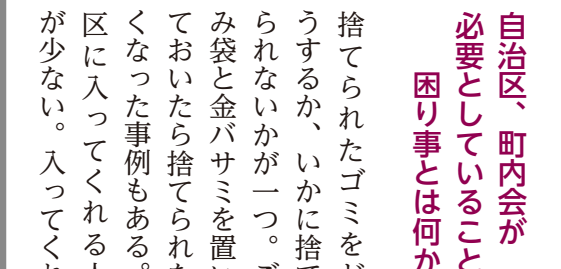
災害時の対応について



・昨日の防災教室には20人程度が参加。高齢

化が進む中、増えている要支援者を誰が助けに行くのか。
・西日本豪雨で、防災訓練の有無が大きく影響した。町全体だけでなく、地域でも訓練しては。
・被災した家の前に旗を立てるとか、色で区別して視覚で訴える方法はどうか。

Bグループ



自治区、町内会が必要としていること、困り事とは何か

- ・捨てられたゴミをどうするか、いかに捨てられないかが一つ。ごみ袋と金バサミを置いておいたら捨てられなくなった事例もある。
- ・区に入ってくれる人が少ない。入ってくれ



る人より出ていく人の方が多い。人が少ないと区費も少なくなり、運営がやりにくい。
・何かあったときに助けてくれる人がいれば。昔は親族や近所など密度の濃い環境があった。



【かきかあちゃん】

ずっと座っている時間が少ない日常、少しづつ楽になったけれど大変勉強になりました。(70代女性)

議会を傍聴して

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

令和5年度

議会モニターの声



町民の声を議会運営に反映するため
【かきかあちゃん】

本会議

たくさんの議案が粛々と採択されたことに感銘を覚えました。

質問者と答弁者の取組み方の方向が一致しており、この町や住民の生活を良くして行こうという思いが感じられて、非常に良かった。
(70代男性)

6月2日の集中豪雨被害に関して、改めて町職員、町議会議員、及び社会福祉協議会の方々に感謝申し上げます。ボランティア派遣に関して的確な対応をいただいたおかげで、たくさんの恩恵にあずかることができました。また、今後起こりうる災害に対する対応策に関して大きな知見が得られたことと感謝しております。

(70代男性)

緊張感の漂う静かな議場で、議会が始まるのをこちらも緊張し待ちました。町長の挨拶は庁舎の移転問題、夏祭りの開催についてや、災害時の炊き出し支援についての協定・締結（日本生命との事）等、知らないことばかりでしたが、町内の動きを知ることが出来るよい機会でした。

(70代女性)



議会だより編集特別委員会

丹念に原稿をチェックし、読者が読みやすく、分かりやすく、誤解することがないように表現にも気を付け、句読点や数字、字体、写真の脚注・・・と本当に細かくチェックされていました。

「こんなに細かく、丁寧に作られているんだ！」と感心しました。

この編集作業だけでも取り上げて記事にしてもいいのではないのでしょうか。そうすれば、もっと議会だよりを大事に読む人が増えると思います。

議員さんの仕事は、自分の所見を持って会議に出て、発言することが第一の筈です。発言がないというのは、議員として仕事をしていないのではないかと私は考えます。

(60代男性)

庁舎建設調査検討特別委員会

町民と共に考え、ベストな街を作る考えがあるなら、基本構想を提示し、町民の意見も広く聞くべきです。われわれ町民も行政任せにせず、積極的に関わっていきたい。

(60代男性)

〈総合的な街作り構想の中での庁舎移転問題〉としてしっかりとしたプランを作り上げてほしい。基本構想を提示し、町民の意見を広く聞くべきです。

(60代男性)

兵庫県佐用町議会視察来庁

11月13日、兵庫県佐用郡佐用町の全議員14人が視察に訪れた。佐用町は本町よりやや少ない人口だが、面積は300km²以上と、約2倍の大きな町。今回の視察研修の内容は、「議会改革と議員定数適正化等について」で、本

町議会が令和4年に取り組んだ議員定数や議員報酬の内容の質問について、当時関わっていた議員が中心となって答えた。また、議員のなり手不足や議会モニター制度について意見交換をした。



議会を傍聴してみませんか

本会議と委員会は傍聴できます。本会議は予約不要、委員会では議会事務局に連絡ください。議員一同お待ちしております。

お詫びと訂正

議会だより99号中13頁に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 北田青葉議員

(正) 北田青羽議員

表紙写真紹介



記念すべき100号の表紙は、妙寺学童保育施設の子もたちに協力をしてもらった。笑顔で今までの節目の発行号の議会だよりを持ち、撮らせてもらった1枚。

募集人数 15人程度
任期 1年間(4月～3月)
職務

- ①本会議や委員会を傍聴し意見を提出
- ②議会だよりやホームページに関する意見を提出
- ③議員との懇談会 など

謝礼 あり
応募資格

- ①満18歳以上
- ②町議会に関心があること
- ③町政および地域社会の発展に関心があること

あなたの声を議会に！
議会モニターを募集

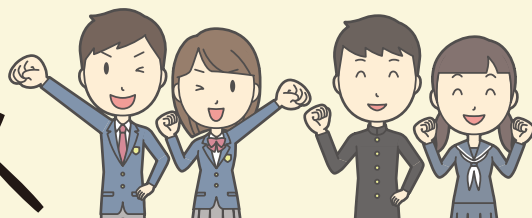
議会だより101号発行日について

101号から契約変更の都合で、5月1日発行予定の「議会だより」を6月1日発行に変更します。



紹介

がんばる人



これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

- ①今、頑張っていること
- ②始めたきっかけ
- ③将来の夢
- ④かつらぎ町の好きなところ



笠田小学校6年
のまひろし
野間 広志さん



- ①学校などでマジックを披露することです。
- ②奈良の祖父の趣味がマジックだからです。
- ③四郷の串柿を継承していきたいです。
- ④柿やぶどうなど果物がおいしいところです。

大谷小学校6年
きむら ひな
木村 斐奈さん



- ①大好きな本をたくさん読むことです。
- ②本屋で見つけた本がおもしろかったからです。
- ③心と心を通わせるスクールカウンセラー。
- ④自然がいっぱいで皆が幸せなところです。



妙寺中学校2年
たなか なの
田中 菜乃さん



- ①バスケと駅伝の練習を頑張っています。
- ②バスケに興味があり、走ることも好きだったからです。
- ③美容師になり、お客様を綺麗にしたいです。
- ④みんなが笑顔で、接しやすいところです。

